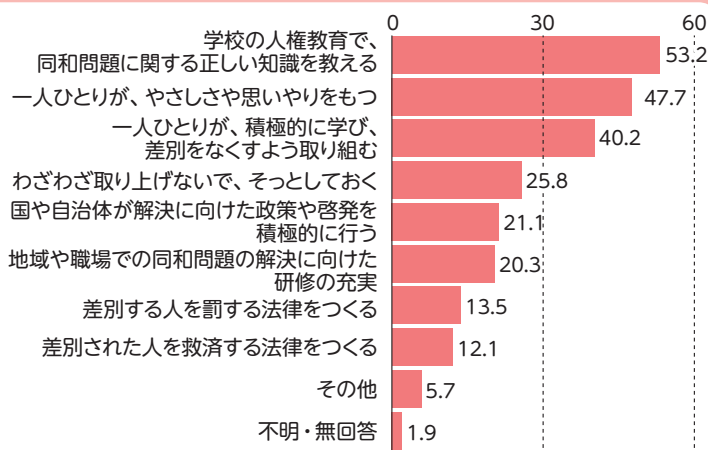


同和問題（部落問題）を解決するための方策



同和問題（部落問題）の解決には、一人ひとりが正しい知識を得た上で「自分事」として捉えることが不可欠です。そして差別を「しない」だけではなく「なくす」行動が必要です。

「寝た子を起こすな」は正しいの!? (同和問題) (取り上げるな)

わざわざ取り上げるから、差別がなくならないんじゃない?



「同和問題は、誰も教えなければ自然になくなる」と言う人がいます。本当にそうでしょうか。現在も差別が残っているのは、部落問題への無知や無関心からくる否定的なイメージが要因です。正しい知識をもっていなければ、悪意のあるデマや誤情報に触れたときに、無意識にそれを信じてしまう危険があります。

「思いやり」や「やさしさ」で差別はなくなるの!?

「人権」はすべての人が無条件にもつものであり、それを保障するのはこの社会です。「思いやり」や「やさしさ」のように「与えたり与えなかったり」するものではありません。「思いやり」や「やさしさ」は大切なものですが、それらだけでは差別のない世の中を作ることはできません。社会を構成する一員として、一人ひとりの人権が真に尊重される社会をつくっていきましょう。

